



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿小だより

令和 8年 4月 15日

第 2 号

新入生をむかえ、全校児童がそろいました

4月10日(金)、前夜からの雨が残り、あいにくのお天気ではありましたが、校庭の桜はこの日を待っているようでした。2年生が昨年植えたチューリップもかわいらしい花を咲かせ始めました。この日、第48回入学式を行い、新一年生を迎えることができました。



学校長の式辞で、「おめでとうございます」と声をかけると、多くの一年生が声を揃えて「ありがとう」と



返事をしてくれました。そんな姿に子ども達の一生懸命さと健気さが感じられ、思わず心が温かくなりました。在校生として式に出席した6年生は、受付を済ませた一年生の手を引いて靴箱へ案内し、靴を入れる場所を教えたり、名札を付けてあげたりしてくれました。腰をかがめたり膝立ちになったりしながら、一年生の目線に合わせて関わる姿は、とても頼もしく感じました。入学式は、新入生

を温かく迎え、楽しい小学校生活の門出を祝うとともに、6年生が良き上級生としての自覚を高める、大切な行事でもあります。



3つの言葉をたいせつに



ふわふわ

入学式の学校長の式辞では、これまで本校で繰り返し伝えてきた「大切にしてほしい3つの言葉」について、話をすることにしています。

おはよう(挨拶)

人と人をつなぐ大切な言葉。
相手に気持ちが伝わるように
顔を見て挨拶ができるように。

ありがとう(感謝)

言われた方も言った側もうれしい言葉。たとえ小さなことでも、お世話になったときは感謝の言葉が言えるように。

だいじょうぶ(思いやり)

困っている人のことを気づかってかける言葉であり、人や自分を励ますときにも使える言葉。他人も自分も思いやり大切にできるように。

この3つの言葉には、こうした願いを込めています。始業式で紹介した「透明なガラスのびん」の話でも、「仲良くなるきっかけ」となる言葉の例として紹介しています。今年も学校全体でこの3つの言葉を大切に、どの学年も楽しく充実した学校生活を送ることができるよう願っています。



今年度の教職員です よろしくお願ひします



今年度の担任・担当は下表のとおりです。総勢 49 名の教職員で、令和8年度の教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

1年生3学級編制

県加配で定数増も欠員 1

今年度の1年生の学級編制は国や県の基準では2学級となりますが、生駒市独自の施策(生駒市立小学校30人程度学級要項*)により3学級でスタートすることができました。新2年生が昨年度3学級でスタートしたのと同じ状況です。なお、生駒市の施策は1年生のみを対象としているため、児童数が増えない場合、来年度は2学級となります。一方、新2年生は、昨年度末に転入があり児童数が増え、国及び県の基準を満たし、3学級を維持することができました。

また、今年度、本校は専科教育を充実させるための県の加配措置が認められ、教員の配置人数(定数)が増えました。しかし、全県的な教員不足の影響により、今年度も市費の非常勤の枠(表中の3年理科の())が未配置のまま、新年度を迎えてしまいました(昨年度は6月末に配置)。

	校長	教頭	主幹教諭
学年等 \ 学級	1組	2組	3組
1年			
2年			
3年			
4年			
5年			
6年			
しかのだい学級			
3年理科	()	3~6年音楽	
4年理科		5・6年理科	
少人数指導		5・6年家庭	
3・4年図工		5・6年図工 3年書写	
校内サポートルーム 支援員		養護	
通級指導		日本語指導	
事務		校務	
初任者指導		初任者研修時補充	
学校司書		スクール サポートスタッフ	
特別支援教育 支援員			
ALT		わくわくEnglish サポーター	

校内サポートルームって？

生駒市では「学校に行きづらい」「行きたくても行けない」「教室に入りづらい」といった状況にある児童が、自分に合った形で登校し、学びの機会を得られることを大切にしています。校内サポートルームは、教室でも、保健室でも、校外の教育支援センター(のびのびほっとルーム)でもない「学校の中にあるもう一つの学びと安心の場」です。本校でも、6月の開室に向けてたがいま準備を進めています。

*1年生だけを対象に、子どもたちの確かな学力を定着させることを目的に実施する少人数学級編制。通常学級において児童数が1学級に32名(県は35名以上)を超える場合に、生駒市の予算の範囲内で学級を分けることができます。